



学校通信

令和6年4月8日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第1号)

新年度を迎えて

校長 岩下 桂郎

今年の春は、例年になく穏やかな足取りで訪れました。卒業式にはまだつぼみだった桜も、今や子供たちが登校するのを歓迎するかのように、まさに春爛漫、満開の花を咲かせています。静かだった校舎も、始業式を迎え、たくさんの笑顔と活気に満ちた元気な声が響くようになりました。

さて、長らく苦難に満ちたコロナ禍も、昨年5月に行動制限が緩和され、交流行事や宿泊行事などの取組が実施できるようになりました。昨年度同行した修学旅行で、中学部の3年生たちが共に行動し、語り合い、思い出を共有する中で仲間としての絆を深めていく様子を目の当たりにし、行事の大切さを改めて感じました。

令和6年度は、新入生9名を含む幼稚部5名(2学級)、小学部12名(6学級)、中学部12名(5学級)でスタートします。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。先輩となる皆さん、進級おめでとうございます。

教職員ですが、校長として岩下桂郎、副校長として近藤美紀、経営企画室長として熊谷教昭が引き続き務めさせていただきます。一方で、学部や寄宿舎等では人事異動があり、別途一覧でお知らせしたとおり、新しい教職員が加わることとなりました。素晴らしい出会いとなり、幼児・児童・生徒の皆さんのコミュニケーションの力を身につけていく機会となることを願います。

本校は、目指す学校として「自立と自律を目指して～一人一人の可能性を広げ、主体性を高める学校～」を掲げています。また、「人権尊重の理念に基づき、一人一人を大切にした温かな教育」の推進を基盤として、「幼児・児童・生徒を確かに育てる」「地域と共に伸びゆく」「教職員の資質向上を図る」ことに向けた様々な取組目標を立て、学校経営を推進してまいります。

子供たちにとって最も身近な支援者でもある保護者の皆様としっかり連携し、幼児・児童・生徒一人一人の成長を学校全体で支えていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「令和6年度のはじまりに寄せて」

副校長 近藤 美紀

令和6年度が始まりました。昨年末にお休みをいただき保護者の皆様には御迷惑・御心配をおかけしましたが、約4か月間の入院生活(リハビリ)を終え、戻ってまいりました。岩下校長をはじめ葛飾盲学校全教職員と共に、みなさんの成長を支えてまいりますので、心配なことや気になること等、何かございましたらどうぞお気軽にお尋ねください。どうぞよろしくお願ひいたします。